

2024年1月号 (No.282)

平尾台自然観察センター



〒803-0180
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739
✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

館内リニューアル工事のため休館中です。
再開時期が決まり次第、ご案内いたします。

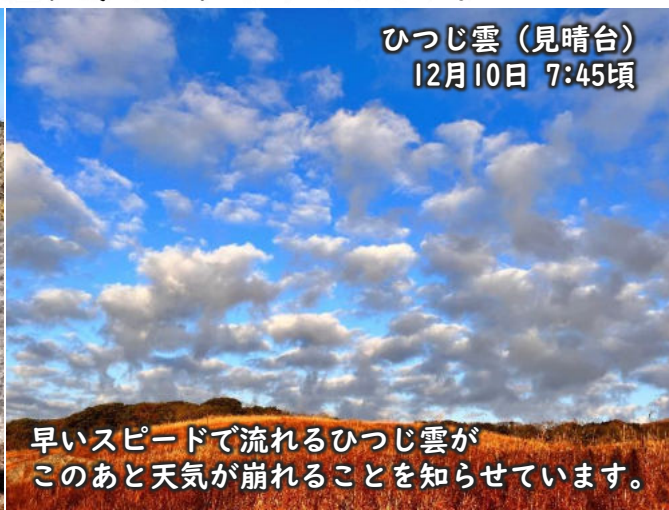
石のひっじ だより

冬到来

12月前半の穏やかな気候が一変、後半は氷点下まで冷え込む日もありました。年末年始は一旦、寒さが和らぎそうです。



岩山からの眺望
12月4日 11:00頃



ひっじ雲 (見晴台)
12月10日 7:45頃

早いスピードで流れるひっじ雲が
このあと天気が崩れることを知らせています。



コショウノキ開花
12月13日

そっと顔を近づけると
甘い香りがしました。



冬のきのこ「ヒラタケ」
12月13日

大きなヒラタケがムクノキの
切株に発生していました。



キクガシラコウモリ
12月14日

洞窟で身を寄せ合って冬眠中

冬将軍、来たる

12月17日に冬将軍第一陣、21日からの第二陣はさらに厳しい寒波となりました。雪化粧した平尾台の風景をお届けします。



登山道や防火帯の積雪 (広谷)
12月17日 14:10頃



降雪ピーク時 (貝殻山)
12月21日 14:50頃



観察センターからの眺望
12月23日 11:30頃



マユミ



ハバヤマボクチ



ヤマジノギク



サルトリイバラ

イベント報告

『大平山・貫山縦走登山(中級)』12月3日(日)

大平山を経由して四方台の急坂を登り、貫山までの往復約10kmのコースを歩きました。貫山山頂の気温は11度。この時期としては温かく、心地良く初冬の平尾台を楽しみました。



貫山 四方台

10:30頃 大平山登頂



四方台の急坂

傾斜角度約22度



山頂の気温11度

12:00頃 貫山登頂



ドリーネに向かって
やまびこ体験

ボランティア活動報告

『草刈り・整備ボランティア』12月2日(土)

登山アプリ「YAMAP」のコミュニティで24名のボランティアが集まりました。グループに分かれて、九州自然歩道千仏方面の倒木や落ち葉の除去と、水晶山方面の草刈りを行いました。



草刈り (水晶山方面)



参加した
ボランティアの皆さま

アサギマダラの越冬幼虫

～キジョランの葉の丸い穴～ 12月13日



キジョランの葉
表側

アサギマダラの幼虫
による円形の食痕



葉の裏側

↑
若齢幼虫
(約1cm)



円を描くように薄く
かじって傷をつける



円の内側の葉を食べる

2023年 平尾台ダイジェスト

2023年の最後に平尾台の一年をふり振り返り。また新しい年も平尾台で四季の移ろいを感じながら、幸多き年となりますように。



初日の出



野焼き



芽吹き春



猛暑続く夏



ススキ揺れる秋



冬の訪れ

2024年もよろしくお願ひ申し上げます。

虫こぶ ～虫の痕跡～ 12月13日

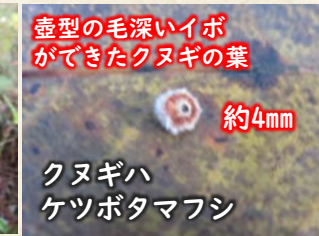
虫の刺激で変形した茎や葉



赤く膨れた
イノコヅチの茎

イノコヅチクキ
マルズイフシ

【形成者】
イノコヅチウロコタマバエ



壺型の毛深いイボ
ができたクヌギの葉

約4mm

クヌギハ
ケツボタマフシ

【形成者】
クヌギハケツボタマバチ

森を散策中、キジョラン (キョウチクトウ科)の葉に、丸い穴が複数あいていることに気づきました。穴の正体は「アサギマダラの幼虫の食痕」。葉を何枚か裏返してみると、越冬中の若齢幼虫がお食事していました。有毒なキジョランの葉を薄くかじって傷をつけ、毒を抜いてから食べていると考えられています。

成虫のアサギマダラ (タテハチョウ科)



秋 (2019年10月9日)



春 (2022年5月20日)

花壇のフジバカマで吸蜜

草原のノアザミで吸蜜

成虫は、春は北へ・秋は南へと長距離移動することが知られていますが、冬の間は、幼虫で越冬し、食草であるキジョランなどを食べて大きくなっています。